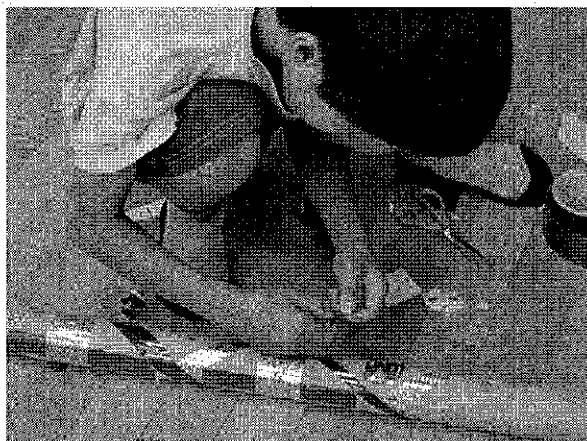


## 平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	体験ものづくり応援隊		
団体名	おおきに		
事業費	601,102円	補助金額	300,000円

事業の目的・内容	<b>目的</b> ボランティア活動で始めて針を持つ高校生、ボタンをつけたことのない若いママ、「ものづくり」から離れてしまった生活、これが現実です。子どもたちものづくりの体験の機会も少なくなっています。ものづくりの楽しさや大切さを日常的に体験できる機会を提供するとともに、ものづくりを通して人と人との繋がりが広がり、地域の活性化を図ることを目的とします。
	<b>内容</b> ガラス・わら細工やクラフト、小物作りを得意とする市民団体や個人で活動する方に講師になってもらい、子どもから大人まで誰でもが楽しくものづくりの体験を行った。また、日常的に体験してもらうために材料を提供し、互いに学びあう企画も合わせて行った。乳幼児を持つ母親を対象に手作りおもちゃの講習会も行い、ものづくりの楽しさを知り、これからの子育てに活かしてもらった。参加費は一律ひとり500円、ただし幼児・小学・中学生は無料とした。

事業の活動実績	① 講師を招いて行う講座 (10回) 6月30日 プチギフト (3名) 7月24日 ガラス (3名) 8月26日・27日 シャラシャラ楽器 (5名) 9月18日 アロマせっけん (17名) 10月27日 つまみ細工 (5名) 11月25日・26日 クリスマスリース (8名) 12月14日 わら細工 正月かざり (5名) 1月21日 アロマハンドクリーム (4名) 2月8日 毛糸ミニマフラー (8名) 2月～3月 (木・金) 入園・入学応援グッズ (6名)
	② 乳幼児を持つ母親向けの手作りおもちゃ 12回実施 45組が参加 (参加費は無料とした) 4月15日、5月20日、6月17日、7月15日、8月19日、9月16日、10月21日、 11月18日、12月16日、1月20日、2月17日、3月16日
	③ 参加者同士が教え合うてづくりイベント (スタッフが指導) 29回実施 参加合計 大人166名 子ども97名



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者を集めるのには苦慮したが、なんとか口コミで参加者を集めることができた。</li> <li>・再度参加してくれる人が多く、ものづくりの楽しさを十分に伝えることができた。 (特に子どもたちのリピーターが多かった)</li> <li>・講座に参加した人が講座当日には参加できなかった人たちに教えるなど、参加者同士の交流も盛んにできた。</li> <li>・少しずつではあるが、体験することにより物づくりに興味を持ってもらえたと思う。 (特に乳幼児を持つ若い母親たちにはとても新鮮だったようです。)</li> </ul> <p>* 今回の補助金事業からは切り離れたが、工業用ロックミシン、直線ミシン、糸を提供して、洋裁ができる環境を整えたことから、洋裁のサークルが活動を始めることができた。 (週2回年間89回を開催し、延べ700名が参加)</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	助成金を頂いたことにより、材料費などを助成金により支出したことで、参加費を抑えることができ、より多くの参加者を得ることができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

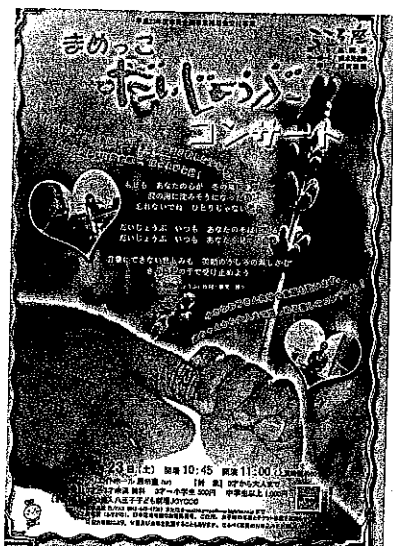
今後の事業展開	<p>日常的にもものづくりの機会を提供し、これからも物づくりの楽しさ、大切さを伝えていきたい。 現在、洋裁のサークルが週2回開催されているが、他のサークルも考えていきたい。 特に子どもの手作りサークルを開催できるように準備する。</p>
---------	--

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	豊かなつながり『まめっこ』流子育て		
団体名	特定非営利活動法人 八王子子ども劇場		
事業費	1,417,905円	補助金額	708,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>乳幼児親子の孤立感、コミュニケーションの不足など、人間関係が希薄になり、子育てのしづらさを感じている親が多く、子どもにも影響していることが少なくない。そこでそれらの解消をめざし、交流を目的にお誕生会を実施する。この会に参加していく中で、孤立しがちな子育て世帯が社会との接点を持ち、交流を深め、楽しく豊かな子育てが出来るようにする。社会参画のきっかけとなるようはたらきかけをおこなう。</p>
	<p>内容</p> <p>0～3才の乳幼児親子を主な対象とする。毎月1回のお誕生会と、鑑賞会やワークショップ、異年齢の子どもとの遊びを通して交流をはかる。</p> <p>年間通して参加することで、参加者同士のつながりを作りつつ、参加者の発案をもとに、一緒に企画をしていく。</p>

事業の活動実績	<p>*4/15 お誕生会 参加者：2組      4/22 作って遊ぼうペープサート! ◎：10組</p> <p>*5/20 お誕生会 ◎：5組              5/29 はじめての人形劇 ◎：41名</p> <p>*6/17 お誕生会 ◎：1組</p> <p>*7/15 お誕生会&amp;プール ◎：7組              7/23 だいじょうぶコンサート ◎：35名</p> <p>*8/19 お誕生会 ◎：4組</p> <p>*9/4 親子で作ろう!ジャンボかるた ◎：18名</p> <p>9/6 ベビーマッサージの心を学ぼう 午前◎：23名      午後◎：14名</p> <p>9/16 お誕生会&amp;プール ◎：11組</p> <p>*10/21 お誕生会 ◎：4組              10/29 秋祭り ◎：約120名くらい</p> <p>*11/18 お誕生会 ◎：4組</p> <p>*12/4 キラキラ☆クリスマスコンサート ◎：90名      12/16 お誕生会 ◎：2組</p> <p>*1/20 お誕生会 ◎：1組</p> <p>*2/9 ソースケさんと遊ぼう ◎：19組              2/17 お誕生会 ◎：4組</p> <p>2/26 はじめてのおしばい「どうぞのいす」 ◎：64名</p> <p>*3/16 お誕生会 ◎：2組              3/31 デイキャンプだよ!全員集合! ◎29名</p>
	<p>は参加者希望の企画</p>



事業の成果・効果	<p>お誕生会を申込み制にしていなかったこともあるのか、毎回参加人数に波があった。何回か実施し打ち解ける話の中から、参加者希望の夏のビニールプール遊びや秋祭りを実施できたことは、とてもよかった。自分たちから動いていくことは、よい経験になったと思う。</p> <p>昼食を食べながらのおしゃべりで笑いあったり情報交換したり、子育ての悩みを分かち合ったり出来、帰りには明るい笑顔もみられた。</p> <p>お誕生会を同じ会場で出来たことは、日ごろちょっと息抜きしたり、愚痴をこぼしたりなど、気軽に相談する場所にもなり、孤立感解消の一助にもなったのではないと思う。</p> <p>お誕生会以外のイベントも質の高いものを提供できた。休日には家族揃っての参加も目立ち、父親の参加への促しも家庭内であったのかなと思う。参加後のコミュニケーションにもなる。</p> <p>親子一緒での楽しい時間の共有は、家族のきずなを深める。幼児向けの質の良い作品は、助成をうけて開催しないと難しい面が多く、その意味で今回非常に良い事業となった。</p> <p>3/11の影響か、前半は参加者が少なく苦勞した。10月のお芋掘りも色々迷ったが中止にした。子育ての不安がますます増すなか、だからこそ今回の事業を実施できてとてもよかった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>ホールが取れず会場費が予算より低くおさえられた。消耗品は参加者の募集をかけたのでチラシ用に経費がかさんだのと、参加者企画の経費のもの。講演料も予算より少なくて済んだ。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>子育て家庭へのアピールの仕方、現状の把握など勉強になった。それに沿った参加者各自へのアプローチも精一杯できたと思う。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今後は同じようなペースではできないが、毎月のお誕生会の実施を中心に、参加者の交流や社会参画へのきっかけをつかめるような企画をしていく。子育てが親子にとって楽しく豊かな時間となるよう、つながりをつくれるよう工夫を重ねていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のお誕生会</li> <li>・お出かけ企画 9月「うさぎのお月見キャンプ」 10月「おいもほり」</li> <li>・コンサート 12月「X'mas コンサート」</li> </ul>
---------	--

平成 23 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	大人の女性のゼミ～私らしくあるためのヒントがいっぱい 夢を実現する とっておきスペシャルプログラム～		
団体名	f-SHIP		
事業費	420,544 円	補助金額	140,000 円

事業の目的・内容	目的
	<p>■人生 80 年の女性たちの間で、年々需要が高まっている生涯学習プログラムを通して、「私らしく」生きるための生活の質と、就業、地域活動等の社会参加意識向上をサポートする。</p> <p>■学び、交流、情報交換できる地域の女性のための「前向きな」セーフティーネットづくりをする。</p>
	内容
	<p>主に 20 歳後半～50 歳代の女性向けの就業、起業を踏まえた生涯学習と、地域の女性たちの「縁活」プログラム。</p>

事業の活動実績	<p>昨年度事業大人の女性のゼミの生涯学習の側面を残しつつ、より一步踏み込んだ内容を意図し、副題を「私らしくあるためのヒントがいっぱい 夢を実現する とっておきスペシャルプログラム」とした。第一回目 9/9 (金)【参加者 15 名】大人の女性のゼミ・キックオフミーティング 第二回目 9/16 (金)【参加者 15 名】身の回りをととのえると‘楽’になる・収納アドバイザーが教える再チャレンジできる自分づくりの「ヒケツ」 第三回目 9/30 (金)【参加者 15 名】キャリアアドバイザーと一緒に「私の強み」をみつけよう 第四回目 10/14【参加者 15 名】九星気学鑑定士と観る私が知らない「私らしさ」 第五回目 10/28【参加者 15 名】「聞きたいけれどなかなか聞けない」起業家兼ファイナンシャルプランナーによる仕事お金事情 第六回目 11/11【参加者 15 名】トークライブ:「私らしい」仕事の作り方 第七回目 11/25【参加者 15 名】PC・WEB サポーターが教えます 自分発信力 UP スキル実施予定 第八回目 12/2【参加者 15 名】大人の女性の自己アピールタイム・修了の時間。以上、全 8 回をおこなった。また、講座終了後、H24 1/20 に当ゼミ参加者を対象としたアフターケア講座を行った。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>■第七回目自分発信力UP講座で取り上げる予定のフェイスブック（FB）にて、受講生同士の「つながり」を維持し、二期生のつながりを維持している。</p> <p>■ゼミ後実施する団体が企画する講座、イベントなどにOJTとして受講生にスタッフとして携わることを提供し、イベントを盛り上げる原動力となった。</p> <p>■今回ゼミには、就業者、個人事業主、地域での活動と活発な受講生が多く、受講中からさまざまな効果が見られる。①講師に仕事を依頼する②受講生同士のつながりからイベント出展 ③仕事斡旋 ④受講生同士で仕事の見せ合い（発表会に招待等）などさまざま見受けられた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	①ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ）
	その他、評価すべき点等	H22年度より更に学習効果、人的交流が深まったと言える。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

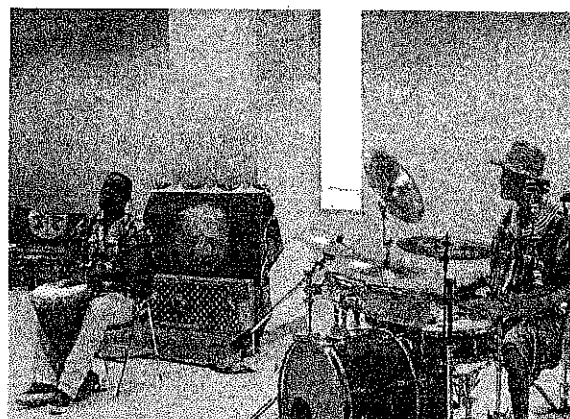
今後の事業展開	<p>来年度の大人の女性のゼミ第三期より、ゼミを「基礎課程」とし、ゼミ後により就業支援を意識した「専科」をまずは小規模ながら自主事業としてスタートさせる予定である。補助金を受けなくなる再来年度より、「基礎課程」と「専科」を連動させてひとつの「女性のための生涯学習・就業支援プログラム」のフォーマットとして完成されていることを目標としている。</p>
---------	--

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	音楽療法による教育・子育て・地域支援事業2011		
団体名	特定非営利活動法人音楽療法NPOムジカトゥッティ		
事業費	104,643円	補助金額	34,000円

事業の目的・内容	目的 音楽療法の社会認知が進んでいないので、参加型のコンサート・ワークショップを企画し啓発・啓蒙を推進しながら、交流を図る
	内容 乳幼児、障害児・者、高齢者など、誰でも気軽に参加できる質の高いヒーリングコンサート・ワークショップ

事業の活動実績	<p>23年7月31日(日)14時から16時、クリエイトホール展示室にて実施。                  講師：B・B・モフラン【ライオンキング】初代パーカッション奏者                  たたら康恵(音楽療法士・ムジカトゥッティ理事長・明星大学講師)                  JunJun (ドラマー)</p> <p>Part 1                  アフリカンリズムの演奏 ●アフリカン・ブルース                  ●マピーナ                  ●王様のリズム                  リズムのコラボレーション 手拍子で参加                  アフリカクイズ 質問とトーク</p> <p>Part 2                  アフリカンリズムの演奏 ●成人式のリズム                  ジェンベの体験 参加者が体験                  全員で、楽器によるコラボレーション                  アフリカンダンスの体験 全員で、体験</p> <p>参加人数 14名</p>



事業の成果・効果	<p>参加者 14 名中、乳幼児と両親、幼稚園児と両親、祖母、中学生と母親の他、6 名が 50 代以上であった。「親の介護や自分の癒しのために体験したい」というのが主な参加動機で、当初の緊張が次第にとけ、和やかな雰囲気であらわれたことは、大きな成果であるとする。うち 1 名は、かなりの健康上の問題をかかえていたが、自分の参加できる部分で積極的にかかわっており、(楽器体験は積極的に、ダンス体験は、動くためまいがするという理由で、見学) こうした自発性、自立性が発揮できることが重要である。</p>
	<p><b>教育・子育ての視点から</b></p> <p>昨年から継続して参加の 5 歳女児は、当初自閉傾向が顕著であったが次第にこだわりがとれ社会性を獲得してきた。13 歳の自閉症の男児は、自分なりのかかわり方を見つけ集団での位置を獲得できたことは、成果と考えられる。</p>
	<p><b>地域支援の視点から</b></p> <p>障害児やシルバーエイジのかかえる問題は接点がないようにみえるが、音楽というノンバーバルな関わりの中では、体験を共有することにより個々の問題解決が導かれる。これが地域支援であるとする。</p> <p>コミュニティにおける音楽療法の推進は、全国的にみてもほとんど例がないため、社会認知はまだまだであるが、今後も継続し推進していくことが大事と感じている。</p>

自己評価	<p>事業は申請どおり実施できた</p>	<p>1 できた ●2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった                  主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p>	<p>●1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった                  主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p>	<p>1 ほとんど同じ ●2 多少の変更があった 3 大幅に変更している                  主な理由 (2、3と答えた場合のみ)                  集客が困難であるので、ちらしを手製とし、会場借料の安価な場所を選び、奏者を 3 名から 2 名に変更した。</p>
	<p>その他、評価すべき点等</p>	<p>乳幼児から、幼児、障害のある中学生、成人と、様々な参加者が集った、14 名中、初参加が 9 名で、啓発への 1 歩とみられる。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>広い八王子地域で新たな学問分野をコミュニティに提示するのは、様々な困難を伴うが、実施の度に、教育、福祉など広い分野での発展が見込まれるので、継続していくことの意味を見出している。近隣の立川、日野、武蔵野市等との連携により、推進していきたいと考えている。</p>
---------	---



平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

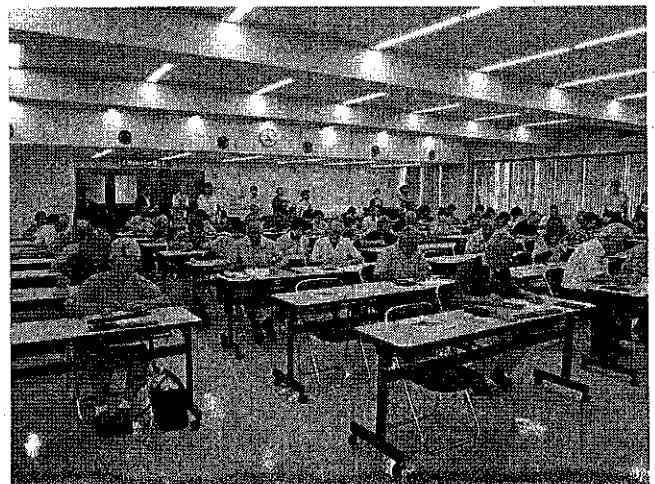
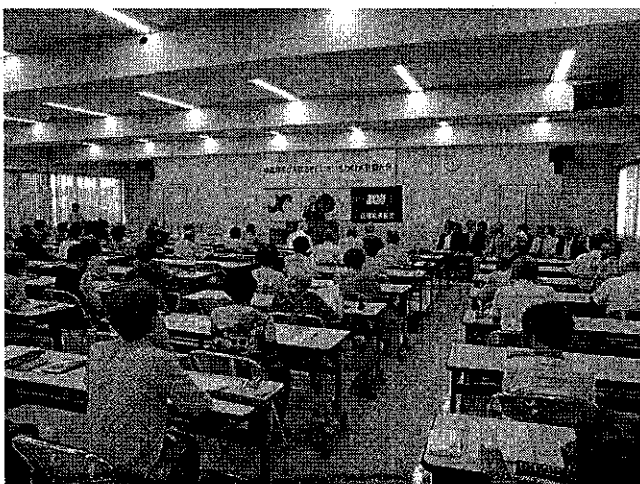
事業名	いきいき わくわく 計算大会		
団体名	ICA 国際電卓協会		
事業費	263,873円	補助金額	80,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

中高年の脳の活性化に計算が良いと言われており、計算をを通じて若返りが出来ればよい。なお、この大会実施により、脳の活性化のため中高年の方が、そろばん・電卓等を学習したい方の支援活動に応援したい。

中高年（60歳以上）による計算大会  
競技方法はそろばん・電卓・筆算など何を使っても、参加可能。  
問題内容は見取算・読上算・読上暗算

事業の活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 開催日時：平成23年9月11日（日）11時～16時</li> <li>2) 開催場所：八王子商工会議所 4階大会議室（市内大横町11-1）</li> <li>3) 参加資格：1部60歳～69歳・2部70歳以上</li> <li>4) 参加費：500円</li> <li>5) 参加者：69名（申込81名）</li> <li>6) 競技内容：①見取算、②読上げ算、③読上げ暗算</li> <li>7) 番外ゲーム：おつりの計算（自由参加）</li> <li>8) アトラクション：ハーモニカによる懐かしのメロディ</li> <li>9) 表彰式</li> </ol> <p>以上の通り、実施された</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>この大会は、今回で5回目(補助金事業としては2回目)、中高年の若返りを目的に開催。参加資格は60歳以上の方で、市内を中心に最高齢85歳の方など69名が参加された。そろばん・電卓等を使って、たし算、ひき算、読み上げ算、読み上げ暗算に挑戦をいたしました。</p> <p>第一部(60歳～69歳)優勝者に市長賞が、第二部(70歳以上)優勝者に会頭賞が授与されました。</p> <p>各部門の優勝・準優勝は次のとおりです。</p> <p>第一部優勝 茅野恵美子氏(八王子市内在住) 準優勝 石田昇氏(市外在住)</p> <p>第二部優勝 坂本三代子氏(八王子市内在住) 準優勝 寛 慎氏(市外在住)</p> <p>中高年の皆さんが、計算を通じ脳の活性化を図るために実施した当大会も5年目を向かえました。</p> <p>平成21年から寿段を次のように認定しております。1回目からの参加者に5段、4回目は4段、3回目は3段、2回目は2段、初参加は初段。</p> <p>これにより、嬉しいことに、多くの参加者より大会が楽しみで来年も参加したい、これからも続けて欲しい、との声をいただきました。</p> <p>この大会を通じて、中高年のみなさんに元気を与えることが出来た大会であったと自負いたしました。</p> <p>なお、今回は八王子市平成23年度市民企画事業補助金から支援をいただき、事業運営の面で、軽減がなされた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった -----
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	今年も多くの中高年の方々に参加をいただきました。 計算を通じて、人と人の繋がりコミュニケーション図れた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	参加者の多くから来年も参加をしたい声に答えるのために市民企画事業として継続をしたい。
---------	--

## 平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子現代家具工芸学校		
団体名	家具のまち八王子		
事業費	2,693,002円	補助金額	600,000円

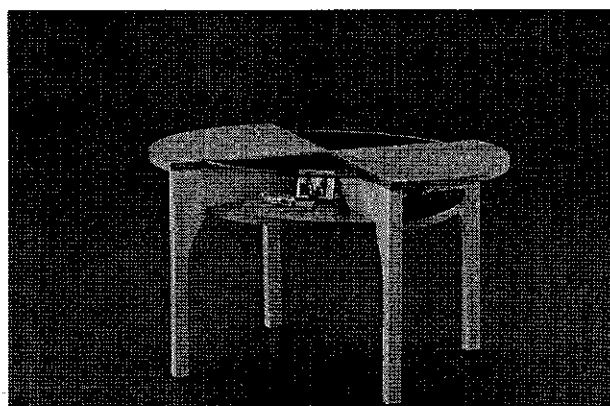
事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>現在、日本には家具のデザインと製作を学べる場所が非常に少ないです。更に家具製作は難しいと感じ、興味を持っている人もどのように始めて良いか悩んでいる人もおります。家具製作のできる設備を揃えば誰にでも家具作りはできると感じておりましたので、男女問わず色々な世代の方に気軽に家具作りを学べる学校を開校しました。</p> <p>売っただけの家具のまち八王子ではなく、学べる家具のまち八王子を目指しております。</p>
	<p>内容</p> <p>木製家具製作に必要な考え方(デザイン)とカンナやノミなどの手道具の技術習得と大型・小型木工機械の扱い方などを習得し、プロを目指す人から趣味の人までが本格的な家具デザインと製作を学べる学校です。</p>

事業の活動実績	<p>【受講者実績】</p> <p>■基礎入門コース 7名・基礎家具デザインコース 8名・応用家具デザインコース5名 クラフトマンシップ家具デザインコース 2名 (※1人が複数コースを受けている事もあるため、延べ数)</p> <p>昨年度より新しく13名の生徒が入り、1年間又は2年間のコースも立ち上げ本確定な育成も始まりました。</p> <p>5月5日の子供の日にはネームプレート作りを行い、10月に2回：国際森林年のイベントと村内フェア内、11月にいちょう祭り、2月に村内フェア内にてお箸作りのイベントを行いました。8月より1日体験として時計作りの講座を始めました。9月に市民塾の講演を学校にて行いました。</p> <p>11月には東京ビックサイトにて行われる国際的家具見本市IFFTに学校のブースとして出展。2月には毎年行っています村内フェア内にて学校の展示会を行いました。</p> <p>3月に伊勢丹立川店のイベントや、お父さんお帰りなさいパーティーに参加。</p> <p>授業は土曜日・月曜日・火曜日・水曜日の午前午後を中心に、受講者の要望に応える形でやっております。</p>

IFFT 国際家具見本市にて学校のブース



10代の生徒の作品：コーヒーテーブル



事業の成果・効果	<p>昨年度よりやってきたことにより今年度は高校を卒業したばかりの10代の生徒が本格的に学びたいと入ってきました。その為クラフトマンシップ家具デザインコースと言う1年間・2年間の長期のコースを作り本格的な育成が始まりました。現在このコースには2名の生徒が在籍しております。その他木工を職業とし、独立を目指して学校に入ってくる若い生徒も出てきました。</p> <p>11月に出席した国際家具見本市IFFTでは生徒に制作依頼の注文もきました。その他、多くの販売などの話も頂き、たくさんの方が生徒達の作品に興味を示してくれました。</p> <p>また、韓国の雑誌にも学校のことを取り上げて頂きました。</p> <p>お箸作りのイベントでは昨年も体験した人が今年もお箸を作っていました。今年は小さな子供もたくさん参加しておりきました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 新しく本格的に学ぶ長期間のコースを作った為、その生徒達に必要な事を考えて。 指導者謝礼、教材用消耗品、イベント経費などの増額があった。
	その他、評価すべき点等	展示会などでは生徒の作品のクオリティが高く出来たため同業者の人からも高評価をいただきました。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>継続した生徒の確保と卒業して行く生徒の将来なども考えなくては行きません。その為多摩地域の業者とも連携し多摩産材を生かした商品作りを学校で出来ないかと考えております。それを卒業した生徒達が作るような仕組みができれば学校として卒業後の面倒を見ることができるのではないかと考えています。教えるだけでなく、その後1、2年仕事として面倒が見ればと考えております。</p>
---------	---

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	里親制度を正しく知ってもらうための活動		
団体名	里親ひろば ほいっぷ八王子		
事業費	94,240円	補助金額	31,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

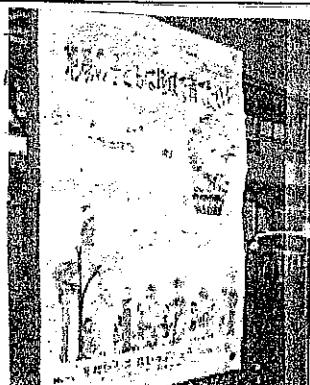
目的  
里親と言えば犬猫メダカの里親の方が広く知られていて、児童福祉法に定められ人間の里親制度がまだ知られていないのが現状です。社会的養護の必要な子どもを地域で育てる里親制度を正しく知っていただくために里親自身が企画します。

内容  
八王子の里親が子どもの通う学校 地域社会に対して情報発信し子どもが育ちやすい環境づくりを目指して行きます。平成20年11月に児童福祉法が一部改正され、里親が条文化されました。社会的養護の担い手として位置付けられたことを自覚し子育ての環境改善に努める活動をします。具体的には、里親制度啓発のためのポスター・パンフレットの作成を計画。

事業の活動実績	☆「里親制度啓発のためのポスター」 3,000部作成 (仕様:A3サイズ フルカラー) 以下のとおり配布を行った。配布にあたっては、のべつまくなしではなく、配布による費用対効果を考え、「顔の見える」配布先を選定。配布を行った。
	☆パンフレットについて：里親に関する活動を行う関連団体と連携を行う中で、先方の団体が、パンフレット(団体紹介のためのものだが、子どもの健全育成についての啓発も行う内容となっており、その中で里親制度についても触れる)を作成した事から、前述のポスターとこの団体パンフレットで里親制度の啓発に努めたいと考え、当団体として里親制度の啓発パンフレットの作成は行わなかった。

- ・生涯学習フェスティバル 100枚
- ・八王子市こどものしあわせ課 30枚
- ・八王子市子ども家庭支援センター 50枚
- ・東京都八王子児童相談所 10枚
- ・市内里親関係者 180枚
- ・市内市民活動団体 160枚
- ・杉並事件(※)を考える会集会 250枚
- ・里親体験発表会場 100枚 等

ほか、市内小中学校への配布も考えたが、以下の理由により断念。  
※杉並事件：2011年8月、1年前里子に暴行を加え死亡させたとして傷害致死容疑で里親が逮捕された。「里子虐待死 里親の声優逮捕」「リビングに大量の毛髪 暴行された可能性」などと新聞各社、テレビ各局は連日、大々的に報道は続いた。マスコミ報道の激しいなか、ポスターの掲示は里親制度に逆風が吹くことを懸念、市内の各小中学校など公的機関への配布は自粛せざるを得ないと苦渋の判断。我々、里親にもコメントを求める  
依頼がマスコミから殺到し、新しく里親になり里子を預かったばかりの人は周囲に里親だと名乗って大丈夫だろうかと不安を口にした。  
市民企画事業補助金でポスターを作成し、里親制度の周知を、と意気込んだものの出鼻をくじかれる格好になった。里親業界には激震が走り、東京都も対応・対策に追われた。



展示の様子



事業の成果・効果	<p>これまでポスターといえば東京都や厚生労働省が里親月間に公的な機関に掲示するために作成されるものしかなかった。しかし、市民の里親力で「里親ひろば ほいっぷ八王子」作成のポスターができたことは八王子市のなかで里親家庭が頑張っている生活しているのだという事はPRできた。ポスターの手ごたえが大きかったとは言えないが、地道なPRはできたと思う。ある施設前にポスターが貼ってあるのを見かけたときには嬉しく感動した。里親のPRをしようと思ったら同じ里親に足を引っ張られる事態になったことは忸怩たる思いが今も残る。</p> <p>まだポスターの在庫があるので今後も折に触れてポスターの掲示・配布をしていきたい。早速、今年5月5日、児童養護施設で開催される「こどもの日フェスティバル」会場でもポスターを貼って里親制度のPRにつとめる予定である。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 協力団体との協議の中で、パンフレットによる啓発は、協力団体が作成するパンフレットを用い里親制度の啓発に努めるし、本団体としては作成しなかったため、その分支出が小さくなった。
	その他、評価すべき点等	協力団体と協働が出来たことで、新しい企画を考える事が出来た。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>子どもに安全・安心な環境づくりを実践して行きたい。里親子にとって、よりよい親子関係作りが出来るよう行政や専門的な方と支援のあり方を考えて行きたい。</p>
---------	--

平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地球冒険学校交流セミナー		
団体名	特定非営利活動法人地球冒険学校準備会		
事業費	860,520円	補助金額	269,000円

事業の目的・内容	<p>目的 「青少年の健全育成」「障害者の完全参加と平等」を目的とし、様々な交流事業をとおして障害者やその家族、地域の人や青少年が交流できる活動を提供する。</p> <p>1.障害者が主体的にそれぞれの自立生活を模索できるようにする。</p> <p>2.障害や世代を超えた人と人との交流をとおして、障害者への理解を促し、ともに協力し支え合うことができる地域生活を促進する。</p> <p>3.青少年のボランティア意識を高め、市内の青少年のボランティア人口を増やす。</p>
	<p>内容</p> <p>①わくわくお泊りコンサート 高尾の森わくわくビレッジにて実施。「東京楽竹団」による竹楽器の演奏と「カポエイラ」というブラジルの格闘技舞踊のコンサートの他、ゲームやキャンプファイヤー等の活動を通して交流。食事や入浴を共にし、一泊で参加者同士の交流を図る。また、青少年のボランティア参加者も参加者の身辺面の介助などを行い、ボランティア活動を体験する。</p> <p>②雪遊び in 信州高遠 信州高遠青少年自然の家にて実施。そりや歩くスキーなどの雪遊びやゲーム、キャンドルの集い、餅つき等で交流を行う。雪遊びの機会の少ない障害者にも雪遊びの楽しさを体験してもらい、ボランティア参加者も実際に介助を行ったり、一緒に遊んだりする中で親交を深める。</p>

事業の活動実績	<p>①わくわくお泊りコンサート；10月1～2日、高尾の森わくわくビレッジにて実施。「東京楽竹団」による竹楽器の演奏や体験とブラジルの格闘技から発展した舞踊「カポエイラ」のコンサートを行った。ゲームやキャンプファイヤー等の活動も行った。キャンプファイヤーは、歌や踊り、ボランティアによる出し物などで盛り上がった。コンサートを中心に1泊することで、参加者はゆったりと交流を図ることができた。参加者113名(宿泊81名、日帰り32名)。内、ボランティア32名。都立高校生もボランティアで参加した。市民センター等に置いてもらった募集要項を見て事前連絡の後当日参加して下さった一般参加も4名いた。</p> <p>②雪と遊ぼう in 信州高遠；1月7～8日、信州高遠青少年自然の家にて実施。雪がないかと心配していたが、少ないながらもそりや歩くスキーなどの雪遊びを体験することができた。また、今年からカローリングやカローリングを使った氷上ボウリングを行う事が出来て、参加者は楽しむことができた。キャンドルの集いや餅つき等も行い参加者が交流した。参加者65名。内、ボランティア12名。高校生のボランティア参加あり。インドネシア留学生一家の参加もあった。また、障害児の兄弟も一緒に参加し、子ども達同士の交流が深まった。観光バスをチャーターし、参加者が交流しながら現地への往復ができたのがとても好評だった。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>参加者数は前年と比較して、わくわくお泊りコンサートが約3割増、雪遊び in 高遠はほぼ同じとなった。どちらも充実した内容の活動ができ、総じて成功を収めた。本事業の成果として以下の項目が挙げられる。</p> <p>①障害者の余暇等における活動範囲は非常に狭いのが現実である。そのような中、本事業を楽しみにして参加する人も多く、学校や作業所以外での活動や交流の場を得ることができた。また、障害者同士や家族同士、ボランティアとの交流も広がり、本事業以外でも交流するなどの事例が見られるようになった。</p> <p>②高校生のボランティア参加もあった。市内の大学生のボランティア参加も定着し、少しずつではあるが、市内の青少年のボランティア活動への機会や関心を喚起できた。</p> <p>③ボランティアから参加費を徴収することなく事業が実施できたので、ボランティア参加の希望が増えた。ボランティア参加の依頼や呼びかけも広く行いやすかった。実際、ボランティアの参加者が増えた。</p> <p>④事業へ参加した結果、会に入会した人もいて会員が増えた。また、継続して事業へのボランティア協力を約束して下さった一般市民の方もおり、会の活動への理解者や協力者を増やすことができた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> 1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> 1 できた    2 概ねできた    3 あまりできなかった    4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> 1 ほとんど同じ    2 多少の変更があった    3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	本事業を通して、一般参加者が多く入会してもらえたのでよかった。 (新入会 3名)

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>この二つの事業は、障害者にとって宿泊体験がしやすい事業で、参加者の次回への期待も大きい。また、市内の障害者と一般の地域の人たちが交流しやすく、青少年のボランティア体験としては、非常に充実した内容でもある。今後も同様に継続していく予定である。今後も、賛助会員や賛助団体をさらに増やし、会の経済的自立を図れるように努力したい。本補助金は、今年度をもって終了するが、今後も当会の会計状況を見ながら、可能な範囲で広報活動を積極的に行い、青少年のボランティア参加をさらに広げていきたいと考えている。</p>
---------	---

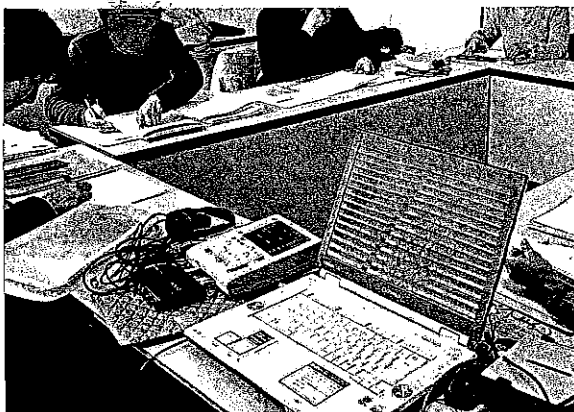


平成23年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	デージー図書の作製		
団体名	南大沢音訳の会「こだま」		
事業費	154,000円	補助金額	47,000円

事業の目的・内容	<p><b>目的</b> デージー（CD）図書のパソコン編集は、2年目にパソコンが購入でき、又デージー班の努力でかなりの成果を得た。今年（3年目）は、より多くの会員がデージー録音を可能なものにし、又、視覚に障害のある方が使用している機器（聞くための機器）を扱えるようにしていきたい。</p>
	<p><b>内容</b> 3年目に当たる今年にはデージー班中心の研修を継続。よりスムーズにデージー編集ができるようになることを目指していく。テープからCDへと多くの会員がデジタル機器での録音ができるように、デージー班の会員が手助けをしていく。編集技術をより確実なものにしていきたい。作成されたデージー図書については希望者に配布。図書館に蔵書として納めていく。</p>

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デージー図書作成の為の研修について</li> <li>①5月機材購入後、6・7月に全会員対象でDR-1での録音（読み）の研修を行った。その後、以前から所有の機材も含め、録音技術向上のため、会員に交代で貸し出し自主練習を促した。</li> <li>②後半では、次年度七夕交流会10周年記念として、全会員参加の七夕CDを作成する名目で、全会員にDR-1で録音してもらった。会員の誰もがデージー機器に触れ、使用する機会を増やした。</li> <li>・PTN2の使用方法について</li> <li>①デージー班を中心に使い方の研修を行い、6月ボランティアセンターのあいあい祭や、7月の七夕交流会や10月の中央図書館での読書フォーラムで、利用者（視覚に障害のある方等）に紹介する場を作った。扱いのできる会員も増えてきている。</li> <li>②作成したデージー図書を聞いてみることによって、利用者の使い勝手を理解でき、よりよい編集につながった。</li> </ul> <p>総じて、デージー編集に自信が持てるようになり、蔵書依頼にも応えられるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市図書館よりデージーでの蔵書製作の依頼（今年度から）。</li> <li>蔵書は定期的なものとして、40タイトル。シリーズもの28タイトル。会独自のもの1タイトルを納めることができた。今後も続いていく。</li> <li>・市の障害福祉計画(第3期)のデージー図書作製依頼。</li> <li>・NPO法人八王子視覚障害者協会より、次年度からの同会の声の会報「せせらぎ」デージー化への協力。</li> <li>・個人の依頼によるものもデージー図書に。個人依頼にも応じられるようになり、デージー図書が確実に増えてきている。</li> </ul> <p>※用語解説</p> <p>■デージー図書=視覚に障害をお持ちの方のための、録音図書。本の内容を音読・録音したものをデータ化し、CD等に収録する事で作成する。 ■DR-1=デージー図書作製のための録音機 ■PTN2=デージー図書の再生機</p>
---------	--



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子市立図書館より蔵書（デージー図書）の依頼を受け、滞りなく納めることができた。 設立13年目にして初めて蔵書として音訳依頼を受ける事ができた。多くはデージー図書として納めているが、「こだま」にその能力があると認められ、この1年間無事に納められた事は、この上ない喜び。10年以上続けている「こだま」定期刊行物「天声人語」も蔵書として、月3回デージー版とテープ版を作成。こちらも滞りなく納めることができた。</li> <li>・市役所障害者福祉課より「八王子市障害者計画（H24～26年度）・八王子市障害福祉計画(第3期)・社会参加支援プラン、はちおうじ〜地域社会でともに支えあうしくみづくり」のデージー図書作製依頼に応えることが出来た。 「こだま」へのデージー図書作製依頼は驚きと同時に大きな喜びにつながった。デージー図書作りが大丈夫との信頼を得た事は何より嬉しい。又、今後、市からのさまざまな情報を、市内音訳ボランティアの手でやれる。市民の手で市の情報を伝えたいという望みが、遠からず実現できるのでは、と思えてくる。実現可能になる時期を待ちたい。</li> <li>・八王子市民活動支援センターで平成24年1月度、アクティブ市民塾をこだまが担当し、デージー録音機材を使つての録音、及び編集、デージー図書を聞く専用機PTN2の説明もできた。 タイトル「声の読書のお手伝い。音訳ボランティア体験」ということで音訳全般について紹介させて頂いた。当日は満員御礼。参加を断らざるを得ない状況だったとか。市民の方々の関心が広がった事が嬉しい。</li> <li>・DR-1については、会員全員を対象に録音体験の場（研修）を設け、更に蔵書がデージー（CD）という事もあり、録音技術も向上。個々の努力の跡がうかがえる。DR-1に慣れた会員が、初心者とペアで取り組み、ほとんどの会員が扱えるようになったのは、大きな成果といえる。</li> <li>・PTN2についてはデージー図書を聞く機器として全会員に紹介。利用者がどのように利用するかよく理解した上での編集は、編集技術の向上につながった。七夕交流会、図書館読書フォーラムなど、直接、利用者に接する機会には、積極的に紹介し、テープからCD移行への仲介役を務めることが出来た。今後も地道に普及の為の努力をしていきたい。</li> </ul>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ）
	その他、評価すべき点等	デージー図書作製が認められ、市図書館での蔵書、市障害者福祉課や八王子視覚障害者福祉協会からもデージー図書作製技術が容認された。音訳者として更なる責任とを感じる。又、今後の自立に向けて大きな励みとなってきた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子市立図書館との連携で蔵書作りに励んでいきたい。</li> <li>・市からの様々な情報はできる限り目の不自由な方々にそのままの形で伝えたい。市からの情報を全て（可能な限り）音声化して伝えていきたい。</li> <li>・音訳者を増やし、音訳者の質の向上をはかりたい。（講習会開催と研修会開催）</li> <li>・さまざまな手段で多くの市民の方々に音訳を理解してもらえようようにしたい。毎年開催している『七夕交流会』もその中の一つとして継続していきたい。</li> </ul>
---------	---

## 6 成果報告会 アンケート結果

### アンケートの概要

実施日	平成24年5月26日(土) 成果報告会にて
対象	成果報告会に来場された方
内容	各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想

### (1) 各団体へ寄せられた主なご意見・ご感想

事業名	DV被害者や女性であるが故の問題を抱える女性の支援		
団体名	いっぽの会	事業成果報告の記載ページ	P 6

- ・ 地味な活動で大変だと思いますが、大変大切な活動ですので、継続していただきたいです。
- ・ 涙して助けを求める方々の、心のよりどころになっているようで、大切な場なのだと思います。まだ、言えずして苦しんでいる方々がいると思うので、より広く知っていただく工夫は、引き続き必要だと思います。(40代女性)
- ・ 大変良い会だと思う。出来れば幅広く声を掛けられるよう、DV被害者のいない街づくりに皆で努力しましょう。(70代男性)
- ・ 出口戦略としての行政との連携も必要かと思いました。(30代男性)

事業名	ぶれいみゅーじっくな活動をわかりやすく広報するために		
団体名	特定非営利活動法人 Pulemyu ぶれいみゅ	事業成果報告の記載ページ	P 8

- ・ 活動の目的がちょっとわかりにくかったです。
- ・ わかりやすく活動されている内容のDVD だと思います。(40代女性)
- ・ 新しい発想の試みです。拡げてください。(70代男性)
- ・ 市外にも同様の活動をする団体、会社もあるので共同でイベント開催なども良いのでは。(30代男性)

事業名	あなたが行動するための「認知症講座」		
団体名	八王子・認知症の正しい理解と予防の会	事業成果報告の記載ページ	P 10

- ・ 事業実施に際しての課題の発表は、大変参考になりました。補助金を有効に活かすためのシステム作りについて、当方も考えていきたいと思いました。
- ・ 広報の難しさについて同感です。また、他団体との連携の難しさはあるのだと思いますが、それをどうにか同じ方向性の部分を見いだすことが、出来たらいいのかもと思いました。すぐは無理かもしれませんが、地道に模索できたらと感じます。(40代女性)
- ・ 認知症の正しい知識は、大変重要なことです。身近な協力者が必要です。(70代男性)
- ・ 高齢者の方々がコミュニティビジネスに参加すること自体が何よりの認知症予防。NPO の会員集めのツールになるのではと思いました。(30代男性)

事業名	わくわくキッズ料理教室		
団体名	八王子地域活動栄養士会	事業成果報告の記載ページ	P 1 2

- ・ 親子や3世代での企画があっても良いかと思います。おばあちゃんの味を伝えるのもいいですね。
- ・ 鍋でご飯を炊く、だしをとるは、なかなか普段しないことで(便利な世の中なので簡単に器具を使ってやってしまうので)電気以外でできるとか、いろいろな方法を知れる体験は、今後何かの時に役立つ技術にもなると思われました。(40代女性)
- ・ 食に対する知識向上に、大変良い事です。物を大事にする事、後片づけの件が抜けている。(70代男性)
- ・ 参加者が、もう少し増えると良いと思いました。カレー以外にもシチュー、豚汁等。(70代女性)
- ・ 学校の家庭科との違いを全面的にアピールすると良いと思いました。(30代男性)

事業名	子育てママのための学び場グランジュette〈一歩踏み出して未来の私につながろう〉		
団体名	グランジュette	事業成果報告の記載ページ	P 1 4

- ・ 大変良い企画だと思います。継続して活動していただきたい。
- ・ ママのための講座は、確かに少ないと思いますし、託児付きはママもありがたいと思います。当団体(ママカフェサークル)は、子育て方法の講座ではありますが、ママの欲求にも配慮した事が学べ、夫婦関係にも良い影響がもたらされる内容にもなっているので、今後、何かでつながれたらいいなと思いました。(40代女性)
- ・ 良い事です。各地域でお友達同士でやっているケースが多い。(70代男性)
- ・ 子育てママのリフレッシュに良い企画だと思う。(70代女性)
- ・ 潜在的ニーズが相当あると思うので、さらなるアピールに期待したいです。(30代男性)

事業名	幼少児童との「防火ふれあい会」		
団体名	防火支援ボランティアFOB八王子	事業成果報告の記載ページ	P 1 6

- ・ プロのおじいちゃん(失礼ですが)から、子どもが学ぶのは、とても良いですね。
- ・ 幼少児童対象ということで、子どもが興味を持つよう、楽しくする工夫をしながら学べるよう、遊びを通しながらの活動は、素晴らしいと思いました。大地震があるのでは・・・との情報がある中、いざという時に役立つ知識の普及は大切だと思います。(40代女性)
- ・ 子供さんだけでなく、親に対する指導が必要である。煙草についても注意が必要。(70代男性)
- ・ これからも続けることで、成果が出ると思う。(70代女性)
- ・ まさにコミュニティビジネスの担い手(プロ集団)。地道だが、重要な取り組み。今後も継続してもらいたいです。(30代男性)

事業名	滝山 森のようちえん	
団体名	滝山ネイチャークラブ	事業成果報告の記載ページ P18

- ・ 体験や遊びを通して、親が「生きる」ことを学べるのは、大変良い企画だと思います。親の「生きる力」を育むことが大切です。セイフティーへの配慮が素晴らしいです。
- ・ 「教えられた事は忘れ、本人が気づいたり、感じたり、感動したりした体験は忘れない。」という言葉、まさにそうだと思います。普段なかなか出来ないことを専門家の指導のもと、危険性なども含めて学習する場はあまりないので、親も体験して学べて改たな発見や、今後子どもとの活動に役立つのではと思います。魚をさばく、ことについては、命の大切さや「いただきます」の真意を伝えたいのだと思います。(40代女性)
- ・ 大変良い企画である。(70代男性)
- ・ 自然が近くにたくさんあるので、いろいろな活動ができるでしょう。(70代女性)
- ・ 八王子ならではの事業。八王子を環境教育先進都市にしてもらいたいです。(30代男性)

事業名	わら細工文化と技術の伝承	
団体名	わら細工の会 円座	事業成果報告の記載ページ P20

- ・ 伝承がわら細工という、わかりやすい形で出来て良いと思います。活動場所は、クリエイティブホールなのではないでしょうか・・・古民家とかで出来ると、雰囲気があっていいですね。
- ・ 生きがいにつながる事業は、高齢化社会に必要なだと思いますし、高価な材料はあまりなさそうなので、手軽にできることはいいと思います。わら細工は、わらだけでなく、他の材料でも出来そうで、アレンジ(身近なもので)なども楽しいのではないかと思います。(40代女性)
- ・ 八王子の名品にしてもらいたい。“みの”は、酒処のディスプレイに、わら細工文化を街おこしに役立てて欲しい。(70代男性)
- ・ 講習会の時間内に作品が出来上がらない時は、どうするのでしょうか。(70代女性)
- ・ 高齢者の参加が多いが、若者はネットを通じて参加してくる。若者に伝承文化を伝える活動は素晴らしい。(60代男性)
- ・ 参加者の中から講師を認定していくと、活動が広がるのではないのでしょうか。(30代男性)

事業名	在宅医療を主題とする活動の普及事業	
団体名	めじろ台安心ねっと	事業成果報告の記載ページ P22

- ・ 地域の医師と連携し、地域性を考慮した企画は素晴らしいです。ウォークラリーなどを組み合わせることで、親睦も図れて良いですね。地域で安心して暮らせる企画はいいですね。
- ・ 参加者も多く、参加者同士のつながりも出来やすい工夫もされていると思いますし、孤独が減るのは、孤独死減少にもつながります。すでに引きこもってしまった人に対する活動にも、もっと力を入れ、工夫されると効果的なのかも。(40代女性)
- ・ 永生会のご協力が大きい。街ぐるみの活動は、大変良いことです。(70代男性)
- ・ めじろ台だけでなく、他の地域でも在宅医療が普及すると良いですね。(70代女性)
- ・ 地域の専門家と連携して、地域の高齢者が気軽に参加して、健康保持ができる企画及び、孤独死の防止に役立ついい事業と感じた。(60代男性)
- ・ さらに他組織との連携を推進していただきたいです。(30代男性)

事業名	親子で楽しむ陶芸教室		
団体名	特定非営利活動法人 発達支援の会ー未来	事業成果報告の記載ページ	P 2 4

- ・ 親子一緒につくりあげる喜びや、達成感も得られるクオリティータイムになる講座だと思えます。また、親のみでなく子ども同士のつながり、親同士のつながりも出来ると思えますし、3歳から出来るのも、年齢さまざまなかで学べるのもいい体験だと思います。(40代女性)
- ・ 粘土を楽しむ良い会です。(70代男性)
- ・ 集中力を高める良い方法だと思う。(70代女性)
- ・ 子どもも大人も楽しく企画に参加して、参加者の満足度も高い。発達障害児に役立つ取組みとして印象を受けた。(60代男性)
- ・ 同様の目的を持つ団体との共同でイベントなど、効果的ではないでしょうか。(30代男性)

事業名	楽しい介護予防の音楽セミナー		
団体名	八王子音楽療法研究会	事業成果報告の記載ページ	P 2 6

- ・ 介護予防だけでなく、ちょっとした脳のウォーミングアップとした短いもので、手や頭をつかったゲーム的なものを、色々な講座の前にやったり、子どもとの関わりを主とした、教育の場でも応用できるものを作り出せそうだと思うので、人と人との関係を縮めるツールとしたゲーム的なものも作られると、活用の場も広がると思いました。(40代女性)
- ・ 永生病院の協力があったようだ。(70代男性)
- ・ 参加者の状態がよくわからなかった。(70代女性)
- ・ 多彩な音楽を活かした介護予防活動。(60代男性)
- ・ 非常にわかりやすく、PRが見事です。(30代男性)

事業名	浅川流域の野鳥保護に関する啓発事業		
団体名	八王子・日野カワセミ会	事業成果報告の記載ページ	P 2 8

- ・ 先日、緑のある場(八王子市内、高尾駅の近く)に行きました(高台)が、とてもどこかで鳥の鳴き声が聞こえて、わずかでしたが穏やかな時を過ごしました。自然を守ることは、人の生活も考える機会を与え、大切なことでもあると思いました。カルタもいい案だと思います。(40代女性)
- ・ カルタづくりに一層努力し、八王子の土産にできないか。野鳥は山に、浅川はクリーンに活動してください。(70代男性)
- ・ 緑地が、野鳥類の保全に極めて重要な役割を果たしていることを、調査に基づいて提言。〈緑地保全地域の野鳥生息調査〉(60代男性)
- ・ カルタの販売をヒントに、今後自主事業も検討しながら継続していただきたいです。(30代男性)

事業名	高齢者向け出張箱庭体験事業		
団体名	カウンセリングスペース まてりあ	事業成果報告の記載ページ	P 3 0

- ・ 心理療法の一つで、それをすることで、その方の心の中の問題点や悩みや思いが、カウンセラーにはわかる(ツールの一つ)と思いますが、耳を傾け、感想を聞くだけでなく、一步踏み込んだ何かも出来そうな事業かとも思いました。施設なら、介護者側への資料の一つにもなるのでは?と思いました。(40代女性)
- ・ 箱庭体験は、新しい試みで良い。楽しんでいただけたらと思う。(70代男性)
- ・ デイサービスの中で、プログラムとして組み入れ、定期的に行うと良いと思う。(70代女性)
- ・ 高齢者施設の厳しい現状が少しわかりました。他団体との連携により、費用面も少しくクリアできると良いと思います。(30代男性)

事業名	体験ものづくり応援隊		
団体名	おおきに	事業成果報告の記載ページ	P 3 2

- ・ 育児中のママも子どもと楽しめる活動は、他のママとの交流の場ともなり、情報交換の場としても効果的だと思いました。育児法のみでなく、楽しめる場も今後していきたいので、どこかでつながれるといいなと思いました。(40代女性)
- ・ 参加者が、ものづくり体験を通じてお互いに学び合う、乳幼児を持つ親を対象とした手作りおもちゃの講習会、「動くおもちゃ」づくり等、ものづくりでつなぐ人と人。大変良い取り組みの印象を受けた。(60代男性)
- ・ テーマをしぼって展開しては?良く解らない。(70代男性)
- ・ 参加者がもっと増えるといいですね。(70代女性)
- ・ 大変良い取り組みの印象を受けた。(60代男性)
- ・ 参加者の中から講師を認定していくと、活動が広がるのではないのでしょうか。(30代男性)

事業名	豊かなつながり「まめっこ」流子育て		
団体名	特定非営利活動法人 八王子子ども劇場	事業成果報告の記載ページ	P 3 4

- ・ 子育て中の親・子ともに本当のつながりが出来て、楽しめる活動の幅の広さに感動ですし、素敵だと思いました。広報活動も効果的な活動をされているのだと思いますし、しっかりした団体なので、安心感もあるのかなと思います。(40代女性)
- ・ 市民活動としては、解らない(70代男性)
- ・ お誕生会は2ヶ月に1回でよいのではないか。参加者が多い方が楽しいと思う。(70代女性)
- ・ 0~3歳児を対象-お芝居・コンサート・お誕生日会を毎月実施。子育てに苦労している若い母親に喜ばれる活動と感じた。(60代男性)
- ・ お誕生日会を1つのきっかけとするアイデアが面白い。SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)やML(メーリングリスト)を使うのも良いのでは。(30代男性)

事業名	大人の女性のゼミ～私らしくあるためのヒントがいっぱい 夢を実現する とっておきスペシャルプログラム～	
団体名	f-SHIP	事業成果報告の記載ページ P 3 6

- ・ 再スタートをされるような場の提供はあまりないと思いますし、素敵なプログラムだと思います。(40代女性)
- ・ 最近増えつつあるニーズ。自主事業を目指して頑張ってください。(30代男性)

事業名	音楽療法による教育・子育て・地域支援事業2011	
団体名	特定非営利活動法人 音楽療法NPOムジカウッティ	事業成果報告の記載ページ P 3 8

- ・ リズムを療法に使うことのように、良く解らない。(70代男性)
- ・ 病気や障害を持つ方々やその親にとって、障害による悩みは幅広くあるかと思いますが、音楽療法は生きている喜びを感じられる心地の良い時間になると思われます。見学(参加)してみたいです。(40代女性)
- ・ 他団体との共催イベントで集客問題は、少し解決できるのではないのでしょうか。(30代男性)

事業名	いきいきわくわく計算大会	
団体名	ICA国際電卓協会	事業成果報告の記載ページ P 4 0

- ・ 続けてください。(70代男性)
- ・ 多くの方の生きがい貢献している印象です。国際交流にもなっているということで、計算以外の言葉の壁をなくした交流にもなっているのでしょうか。もしそうでしたら、素敵だなと思いました。(40代女性)
- ・ うまく周辺団体を巻き込んでいるので、自主事業としての継続もチャレンジしていただきたいです。(30代男性)

事業名	八王子現代家具工芸学校	
団体名	家具のまち八王子	事業成果報告の記載ページ P 4 2

- ・ 八王子の物づくり。八王子グッズに生かしてもらいたい。商品開発に。(70代男性)
- ・ 地域の木材を使用し、伝統技術の家具作りは素晴らしい。(60代男性)
- ・ 貴重な職人さんの育成になっているのかなと思います。八王子のあの学校に行きたいと思われるような、積極的な活動を支援していただけたら、市としてもメリット高いのではないかとも思いました。もっとより多くの方の目に触れるようなところ(色々な場)での展示会も今後あるといいのかも。(40代女性)
- ・ コース別の分け方も明確で、補助金に依存しない運営を期待したいです。(30代男性)



事業名	里親制度を正しく知ってもらうための活動		
団体名	里親ひろば ほいっぷ八王子	事業成果報告の記載ページ	P 4 4

- ・ 何時も頑張っていますね。(70代男性)
- ・ 里親教育が必要(継続的な)。最初は、本当に良い貢献の意識で里親になっても、血のつながりのことも多少あるかとも思いますが、子を育てるとは大変なことを伴うので、精神的な支えが継続的に必要だし、支えのみならず、学びの場も継続的に必要と思われ、大変だけど、大切な事業かと思えます。(当団体では)子育て方法の講師を呼んでいるので、どこかでつながれたらいいと思います。(40代女性)
- ・ 社会的に非常に意義のある活動。この分野は、行政の継続した支援をお願いしたい。(30代男性)

事業名	地球冒険学校交流セミナー		
団体名	特定非営利活動法人 地球冒険学校準備会	事業成果報告の記載ページ	P 4 6

- ・ 大変良い活動です。(70代男性)
- ・ 体験型ということで、より感じたり、気づいたり、発見したりという学びにつながるセミナーだったと思います。特に障害をお持ちの方は、生きがいや楽しみがとっても貴重だと思うので、多くの方々の生きがい、楽しみの一つに貢献されていると思います。学生ボランティアさんが、入るのもいい(どちらにもメリットあり)と思いました。(40代女性)
- ・ 養護学校元教員(プロ)のノウハウを継続して地域に還元していただきたい。(30代男性)

事業名	デイジー図書の作製		
団体名	南大沢音訳の会「こだま」	事業成果報告の記載ページ	P 4 8

- ・ 頑張ってください、良い事です。(70代男性)
- ・ 知覚障害の方の世界は、何もしなければ狭いですが、その世界を広げて生きがいを見つけたりするツールの一つにも、楽しみのみならず、必要な情報や知識の場合もあるのでしょうか、とても貢献していると思います。(40代女性)
- ・ 利用者からの料金徴収等により、事業継続に取り組んでいただきたいと思えます。(30代男性)
- ・ 視覚障害者に、より多くの情報を提供できるように、進歩してきた。助成金を、実に有効に活用している印象を受けた。(60代男性)

## (2) 成果報告会についての主なご意見・ご感想

- ・ 一層充実してほしい。(60代男性)
- ・ この制度のおかげで、今の存在があります。本当に感謝です。大変ですが、今後ともよろしくお願いします。

## (3) 市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

- ・ 自分の活動に意欲がわいてきた。(60代男性)
- ・ もう少し、市民の方々にも関心を持っていただくよう、努力してもらいたい。(70代男性)
- ・ 皆さん、よくやっていたらっしゃいました。やはり、他のグループの発表を聴くことにより、大変参考になりました。良いところを学んでいきたいと存じます。今後とも、さらに精進したく存じます。市の係の皆様、ご苦労様でした。来年もまた、よろしくお願い致します。がんばります。

## 7 交付団体連絡先一覧

部門	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援	いっぽの会	小口 三恵子	小口 三恵子	八王子市富士見町35-5	042-642-4096
	特定非営利活動法人 Pulemyuぶれみゆう	永井 美知	永井 美知	八王子市館町598	042-657-6834
	八王子・認知症の正しい理解と予防の会	高本 安子	高本 安子	八王子市台町4-44-13 パレドール西八王子507	090-6179-1049
	八王子地域活動栄養士会	峯尾 きよみ	内山 菜穂恵	八王子市狭間町1462-5 タウンズ八王子A-910	042-661-3605
	グランジュッテ	坂元 孝子	坂元 孝子	八王子市台町1-23-16-401	042-686-1715
	防火支援ボランティアFOB八王子	本田 秋久	本田 秋久	八王子市川口町1540-65	042-654-6148
	滝山ネイチャークラブ	堀岡 正昭	堀岡 正昭	八王子市西寺方町1019-269	042-652-9265
	わら細工の会 円座	伊藤 文子	伊藤 文子	八王子市大和田町7-18-20	042-625-2542
	めじろ台安心ねっと	嶺 学	青木 光子	八王子市めじろ台3-5-10	042-663-0695
	特定非営利活動法人 発達支援の会—未来	坂元 恵子	坂元 恵子	八王子市東浅川町255-7	042-663-6547
	八王子音楽療法研究会	新井 幹	新井 幹	八王子市めじろ台2-18-6	042-664-6357
事業実施	八王子・日野カワセミ会	粕谷 和夫	門口 一雄	八王子市片倉町937-135	042-635-6886
	カウンセリングスペース まてりあ	兼広 久美子	田中 早代	八王子市初沢町1327-6	042-666-0130
	おおきに	大森 一美	高岩 尊子	八王子市明神町4-13-10	042-646-0766
	特定非営利活動法人 八王子子ども劇場	浅野 里恵子	村上 ひろみ	八王子市明神町4-13-10-2F	042-645-1739
	f-SHIP	石黒 美世	石黒 理紗	八王子市城山手1-26-21	090-3236-9478
	特定非営利活動法人 音楽療法NPOムジカトゥッティ	多田羅 康恵	神寄 智子	八王子市大和田町4-29-17-301	042-642-1030
	ICA国際電卓協会	高木 早苗	巻田 浩行	八王子市大横町11-1 八王子商工会議所内	042-623-6311
	家具のまち八王子	村内 弘道	伊藤 洋平	八王子市左入町787 村内ファニ チャーアクセス内 西側ログハウス	090-4243-0506
	里親ひろば ほいっぷ八王子	坂本 洋子	高瀬 礼子	八王子市横川町42-108	042-620-8178
	特定非営利活動法人 地球冒険学校準備会	小野 晴巳	宮下 純一	八王子市大和田町1-33-13	042-646-0459
南大沢音詠の会「こだま」	遠藤 由利子	遠藤 由利子	八王子市緑町298-9	042-627-4032	

平成23年度  
市民企画事業補助金  
成果報告書



平成24年7月発行

発行 / 八王子市  
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号  
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253  
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp  
URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatsudo/index.htm>

---

